

森の…

那須平成の森スタッフが思う、森の中の「一番●●なもの」を
取り上げ、独自の目線で紹介します。

いちばん!! 「たくましい木」

那須平成の森は落葉広葉樹の森。まだ木々の葉っぱが芽吹く前の早春の森を歩くと、様々な木々の樹形が目飛び込んできます。その中でもひととき目を引く樹形をした木がミズナラです。写真(右)のように株立ちしているミズナラがとて多いのです。

那須平成の森は、およそ100年の間、御用邸の森としてほとんど人が出入りしない場所でしたが、それ以前は薪炭林や、馬の放牧場として人々に利用されてきました。切られたり、開拓されたり、森にとっては変化の多い状況だったはずです。



株立ちすることで、光の獲得量も増える!

そんな時代からずっと、ミズナラはこの森の主要な木として生き残ってきました。陽樹として拓けた土地でもいち早く定着でき、切られても再生できる強い萌芽力を持ち、しかもそこそこ耐陰性もある! このしなやかさが、ミズナラのたくましさだと思います。だから周りを木に囲まれても生き延びられるんですね。

太く株立ちし、空に向かって枝先を大きく広げてたくましく伸びるミズナラの横に立つと、私も力をもらえるのです。(小鷹)

那須平成の森ミュージアムキャラクター誕生!!

那須平成の森を楽しく紹介できる、ミュージアムキャラクターを作りたい! ということで、スタッフ全員が参加し、ツキノワグマをモチーフとしたキャラクターの絵と名前を考えました。地元那須町のプロの方にもデザイン化を手伝ってもらい、3つのキャラクターが決定しました! これから、どうぞよろしくお願いします♪



◀ なすくん

那須平成の森に住むベテランインタープリター。くまこの師匠でもある。無表情に見えるが、好奇心旺盛で物知りのクマである。

くまこ ▶

なすくんの弟子。大好きな森のことをみんなに楽しく知ってほしくて、すてきなインタープリターになるべく、那須平成の森で修行中。



▲ しずく

雲からこぼれた、水の雫。ある日ガイド中のくまこの帽子の上に落ちてきた! 驚いたり、嬉しかったりすると、頭の上のちいさなしずくの形が変わるよ!

森ことば



今回の
お題

世の中にあふれている様々な言葉(偉人の言葉、名著や作品のフレーズ、流行語、ことわざや四字熟語など…)の中から毎号一つを取り上げ、インタープリターが那須平成の森の自然から、お題の言葉を受けて感じたものを探し、写真で語るコーナーです。

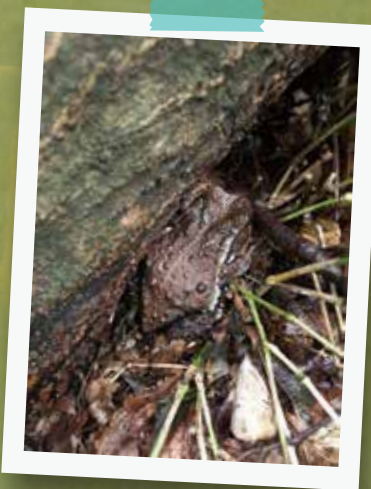
初心忘るべからず

何かを始めた最初のころの気持ちを忘れてはいけないという戒めのことば



植物の新芽は毎年同じように、形を変えず姿を現します。誰からも教わったことなどないはずなのに…。

「最初に思いついた一念を忘れてはいけない」という意味もあるように、脈々と受け継がれてきたその遺伝子に、初心を忘れてはいけないと強く思いました。(西垣)



まるでアルファベットの「N」のように成長した木。何が起きてこんな形に! と想像が止まりません。

僕がこの世界に入ったきっかけである「自然はワクワクするような不思議がいっぱい!」という気持ちを、思い返させてくれる木です。(丸子)



無防備なオタマジャクシは、危険が迫るとサッと陰に隠れて身を守ります。そうして無事に成長し、大きな体に毒まで得たらさぞ安心…かと思えば、大人になったヒキガエルも全力で物陰に隠れます。

どんなに強く成長しても、生き抜くことへの全力さはずっと変わらない心なのだと感じさせられます。(島崎)

「初心」といっても、インタープリターごとに、違う見方、感じ方があんだなあ。

那須平成の森のインタープリター達の個性が感じられるナスねえ。

